

第 79 回小田原市美術展覧会

【前期】

洋画・日本画・彫塑

受賞作品

審査員講評



第79回小田原市美術展覧会

洋画・日本画・彫塑 審査員講評

◇審査員（50音順）

洋画：飯沼 重信、磯 英海、柏木 隆一、白須 武子、田嶋 佳子、藤澤 徳子、古屋 京子

日本画：鈴木 立子、中居 長子、夏目 日出男

彫塑：梅村 正美、渋谷 武美、根津 憲一

【洋画】

○市長賞 作品名：季の恵み 作者：神保 直子

季の恵みを石膏像、季節の果物、野菜などを入れて表現しています。背景の明暗のバランスが絶妙であることがこの作品の魅力です。また、画面の構成力が空間を引き出しています。人の心を引きつける作品であるのは、水彩絵具の美しさを存分に引き出した果物などの画力にあります。いつまで見ても飽きのこない作品です。それは、作者の作品に挑む心があるからです。



○市議会議長賞 作品名：第九歓喜の歌＝玩具の楽団 作者：今井 由夫

重厚な油彩画の作品です。何回も絵の具を重ねた跡は、作者の努力の跡でもあります。第九歓喜の歌を演奏する楽団員の頑張りが目に見えるような形で表現できています。玩具の楽団が演奏しているのでしょうか？玩具の楽団ならテーマが楽しいですね。中央下方の指揮者、左の白いドレスのバイオリン奏者が、作品にアクセントを出しています。赤白黒の色彩のバランスも見事です。



○教育委員会賞 作品名：雨色の遊び場 作者：川本 鈴華

若々しい作品でありながら、見ていると自然ににじみ出る人間的な重みを感じます。すなわち「存在感」のある作品です。2匹のうさぎが何を感じ、何を考えているのかと思えるのは、作者が2匹に愛情をもっているからです。雨の表現がユニークであり、油彩絵具の特徴を生かしています。ビーズのカラーージュも作品に華をそえています。次作が大変楽しみです。



○奨励賞 作品名：深海の賑わい 作者：田口 かおり

作者がイメージする深海の様子を楽しみながら描いています。生物が生き生きとしており、「交流の場」を感じます。それがタイトルの賑わいに繋がっています。色彩が美しく、スカッとしているのは墨と水彩絵具の使い方が、おしゃれだからです。また、作品に流れがあるのは中央のクジラの形をした緑が成功しているからと思えます。これからも楽しんで制作してください。



○奨励賞 作品名：求める 作者：石川 稟乃

作品名の「求める」は何を求めているのか。男性歌手のビジュアルの虜になったことかと思えますが、見る人はこの作品の作者の虜になりそうです。それは、人の心に強く働きかける力を持った作品だからです。歌手を囲む手が画面の構成力を高めています。抽象性もある作品であるのは、単なる描写におわっていないからでしょう。



○佳作 作品名：錦秋 作者：米山 由美子

色鉛筆を使った美しい作品です。紅葉した木々と、水に映る木々の表現が見事です。地上と水面の位置も、バランスが取れています。色鉛筆で描いた作品と分かると、皆さん「えっ～すごいですね」と言われるでしょう。桃色と緑色の対比が黄色を生かし、この作品の中を散歩して、秋の木々を愛でたい気分です。



○佳作 作品名：季節の森の奏者 作者：小玉 誠一

画題にぴったりの作品です。バイオリン・蝶・森の女神など、画面に溢れるほど、描かれています。なぜか窮屈にならないのは、作品の創造力があるからです。深い森の美しさが表現され、物語性を持っているのは、作者が何を描きたいのかがしっかりしているからです。色も美しく、何度見ても良い作品です。ひょっこりと顔を出しているカエルさん！！楽しいですね。



○高校生奨励賞 作品名：求める 作者：石川 稟乃

高校生らしいテーマの作品です。絵画制作が大好きなことがよく分かります。そして、作品に真剣に真面目に取り組める力はすばらしいと思います。高校生活が充実しているからこそできる若さ溢れる作品です。将来も絵画を楽しまれることでしょう。高校生活を楽しんで下さい。良い作品を出品していただきお礼を言います。「ありがとう」審査員一同より。



【日本画】

○市議会議長賞 作品名：春のおとずれ 作者：石黒 翠

爽やかな緑の世界に遊ぶ愛らしい雀の姿。それを包み込むような幻想的な白百合の花。それぞれの的確な描写を更に超えるファンタジーな作品で、その着想の意外性に脱帽です。この個性を大切に、次なる作品を期待しております。



○教育委員会賞 作品名：滝尾神社新緑の参道 作者：相田 吉乃

苔むした石塔、風雪を感じさせる石段と、深山の静寂の中に身を置いているが如く感じられる作品です。年々、深みを増してこられる作品に、次作、大いに楽しみにしております。



○奨励賞 作品名：きょうは… 作者：石井 まゆみ

渋い、けれども暗くないバックにむくげの花の可憐さが映える作品です。壺の色の複雑さ、また、すきとおるような花びらの表現と、卓越した技量に感心します。現在の「心楽しく描く」を大切に、次作にも挑戦していただきたいと思います。



○佳作 作品名：世相 作者：高見 豊

遠い山、清水寺というしっかり描かれた建造物、あふれる人々という背景のもと、骨太の圧倒されるような力強い作品となっています。次回も、豊富な経験を活かした素晴らしい作品を期待しております。



【彫塑】

○教育委員会賞 作品名：あおかえるの住む森 作者：高井 カズオ

一本の木からそれぞれの形を彫り出し、組みあわせることで独特の世界を上手につくり出している作品です。形と着彩でかえるの特徴が的確に表現されており、作者の技術力の高さを感じられます。地部分の着色が素材の木により硬さを与える効果となっていて好感がもてます。



○奨励賞 作品名：あしたも… 作者：石井 まゆみ

材料の粘土の持つ質感がうさぎの表現に効果をあげています。塑造の楽しさは、自由に形づくれることにありますが、それだけにできた形をこわすことの難しさがあることも事実です。どこまで写実に表現するのか、どこまで省略しつつ動きやかたまりを強調するのかといった対象との対話をこれからも楽しみながら制作を続けてほしいと思います。



○高校生奨励賞 作品名：空想ワールド 作者：清野 稜介

作者の創ることを楽しんでいる様子が観る者にストレートに伝わってくる作品です。小さな作品を統一したり、動きや方向性を持たせたりすることで、主張が明確に表現された作品になると思います。これからも楽しんで制作に取り組んでいくことを期待します。

